

平成31年新年祝賀会

1月18日(金)、KKRホテル東京において日漢協新年祝賀会が開催された。

まず初めに、加藤照和会長が主催者を代表して挨拶を行い、この1年のトピックスとして、ICD11に初めて伝統医学が入ったこと、医療用生薬が基礎的医薬品に位置づけられたことを述べた。

しかし、漢方製剤については基礎的医薬品とならず、不採算品目が5割を超えた現状を踏まえて、安定供給のためにも基礎的医薬品への適用を引き続き求めていく決意を示した。

また、セルフメディケーション税制において、OTC薬全体が対象となることを視野に、

引き続き推進活動に取り組むこと、

4月より適用される「販売情報提供活動に関するガイドライン」については、漢方薬と西洋薬の効能などには違いがあることから、

漢方薬が適正に使用されるよう意見交換をしつつ、コンプライアンス体制を強化していきたいと語った。[【会長挨拶文】](#)



続いて来賓を代表して厚労省・吉田学医政局長、日本医師会・横倉義武会長、日本東洋医学会・佐藤弘会長、日本薬剤師会・乾英夫副会長、日薬連・宮島俊彦理事長と、

前厚労大臣の加藤勝信衆議院議員からご祝辞をいただき、鈴木一平副会長の乾杯の挨拶で歓談となった。

この間も、出席された国会議員の方々からご祝辞をいただくなど

終始和やかな雰囲気であったという間に時間が過ぎ、

(株)ウチダ和漢薬の松本克彦副社長の中締めで、

盛況のうちに閉会となった。